

2021年 第1回

臨時会報告

59億円の補正予算、 ワクチン接種対策強化や対策認証制度創設

5月31日(月)、2021年第1回臨時会で新型コロナウイルス対策を計上した本年度一般会計補正予算案が提案され、審議の結果、全て可決されました。

補正額は59億5,765万円。内容を報告しますと、高齢者へのワクチン接種を7月末までに完了させるため、市町村と連携し、医療従事者のさらなる確保、個別接種会場の休日開設や集団接種会場の追加など接種体制の強化に取り組むほか、休日に集団接種会場に医師等を派遣する医療機関への助成として「**ワクチン接種体制緊急強化事業**」(2億3,200万円)を進めます。

「**中小企業・小規模事業者事業継続支援金給付事業**」(21億9,534万円)は、不要不急の外出自粛や飲食店の営業時間短縮等の影響を受けている中小企業・小規模事業者の事業継続を支援するため、売上が大きく減少している事業者に対し、支援金を給付するものです。

「**宿泊施設受入環境整備緊急支援事業**」(20億8,450万円)では、今後の誘客に向けて受入環境の整備に取り組む宿泊事業者を支援するため、感染症対策機器の導入、施設改修、通信環境整備等に要する経費に対し助成します。

飲食店における感染症の拡大を防止するため、第三者による認証制度を創設するとともに、飲食店が行う設備導入に要する経費に対して助成する「**安心はおいしいプラス**」認証制度推進事業(12億8,477万円)は、政府が推奨するいわゆる「山梨モデル」を大分県にも導入するものです。

さらに、**芸術文化活動継続緊急支援事業**(3,000万円)で、感染状況がステージ3以上の期間に芸術文化イベントを中止・延期した団体には、キャンセル費用として最大300万円を助成することになりました。

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

保育士、幼稚園、小・中・支援学校の 教職員を優先接種に

学校でクラスター(集団感染)発生が相次いだため、全ての保育士、幼稚園・小・中・支援学校の教職員、保育士ら約1万4千人をワクチン優先接種の対象に加えることが県の感染症対策本部会議で決定されました。

マスクの着用がうまくできていない幼児やワクチン接種対象年齢となっていない児童への対策として、保育士や教職員のワクチン接種を優先させていくとしています。

県は高齢者向けの接種にめどが立ち次第、基礎疾患がある人や介護従事者などと並行し、集団接種会場などで7月中旬から始める方針。夏休み中に2回目まで完了するよう、進め方を市町村と検討します。

今回、高校の教職員は優先接種となっていないことに関して、文教警察委員会では高校の教職員も優先接種対象とすべきではないかとの意見も出されました。



第1回臨時会で県民クラブを代表して議案質疑に登壇した高橋肇議員(臼杵市選出・1期目)は、他県でワクチン接種を断った看護師が退職を強要されるという事例が発生したことを例に、差別事案を把握できるような相談体制について質問しました。

原田も昨年9月の第3回定例会で「専門の相談窓口を開設すべきではないか」と質問しましたが、このときはできていませんでした。その後、11月に「専門相談ダイヤル」が開設されました。

専門相談ダイヤル TEL097-506-3181

答弁では、この専門相談ダイヤルにこれまで28件の相談があったとのことでした。

私のところにも先月は「申し込み電話が繋がらない」、「インターネットでの申し込みができない」等の相談が続いたのですが、最近では「ワクチン接種は必ず受けなければならないのか」という相談が寄せられています。

私は接種を受けるつもりですが、ワクチン接種は強制されるものではありません。感染症に関わり、悩んでいることがあれば、ぜひご利用ください。



私のHPにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

HPをリニューアルしました

<http://www.ctb.ne.jp/~harada/>

大分県議会議員 原田たかし

検索

